

第 1817 回例会報告

会長告知 会長 萩田 均

3 月は水と衛生月間です

ビジターとして諏訪ロータリークラブ合田様と、諏訪大社ロータリークラブ矢ヶ崎様がおいでになっています。後ほどスワコエイトピークストライアスロン大会についての説明をいただきます。諏訪圏域内多くの市町村と団体の協力において、昨年、第 1 回が開催されました。諏訪グループの中で話し合いをして、各クラブの奉仕事業が計画され展開している今は、まとまったの協力は難しいが、会員個人の協力について支持することになりました。大会も迫っています。出来る限りの協力をお願いします。

本日はクラブ会報・雑誌広報委員会御子柴委員長担当の例会、平山会員による卓話です。私たちはいろいろな職業を持っているものの集まりです。それぞれの方に人生と、知見があり、それをお聞きすることができる卓話は、大きな勉強となります。平山先生本日はよろしくお祈いします。

3 月は水と衛生月間です。水と衛生については専門として職業をされている望月幹事にお任せするとして、諏訪湖ロータリークラブが、過去に行ってきた水と衛生に係わる事業を思い起こしてみましよう。国際ロータリーのマッチンググラウンドを活用して、フィリピンに井戸をいくつも、提供しました。詳細は小松会員にお聞きください。近年の活動ですが、シタナオ子供図書館にきれいな水を送る事業が展開されています。詳細は長崎会員にお聞きください。広くとらえてですが、諏訪湖ロータリークラブでは創立以来、水に係わり諏訪湖浄化や、景観、里山整備を実施しています。これは 39 年間の息の長い事業で、過去の周年記念誌にも記載のとおり、記念事業として取り組み、5 年おきに中長期計画を作成して、計画的に実施しています。来期は節目の 40 周年です。みんなでクラブの中長期計画を、そして未来を作りましよう。

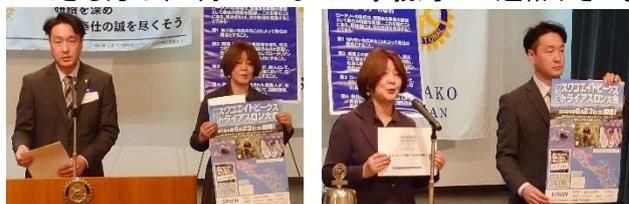


小口直久会員に、RLI 委員の委嘱状が手渡されました

令和 6 年 3 月 7 日(木)晴

◇スワコエイトピークス ボランティアのお願い◇

2024 年 6 月 23 日に行われるスワコエイトピークスのボランティアのお願いに、諏訪 RC 合田敦子さんと諏訪大社 RC 矢ヶ崎能充さんが訪問されました。諏訪グループ及び諏訪湖 RC として協力はできませんが、個人としてボランティアができる方は、3 月 28 日までに事務局へご連絡下さい。



◇幹事報告◇ 幹事 望月 勉

【報告事項】

① 2 月 25 日の IM に参加された皆様、お疲れさまでした。本会議には 13 名の会員の皆さんが出席されました。欠席された方のレターボックスに、当日配布されたパンフレットを入れてありますので、ご覧ください。

② 2 月 16 日に信大に 5 万円の寄付金を振り込みました。これに対して、寄付金証明書が届きました。

【連絡事項】

皆様に FAX をお送りした通り、次回 3 月 14 日の例会は、引継ぎのための例会を開催いたします。40 周年の取り組みについて、太田エレクト、小笠原次期幹事、40 周年実行委員長の小口会員からのお話と、会員各位からの意見発表がございませう。ぜひご出席ください。

【受領文書】

昨年 6 月 25 日に行われたインターアクト地区大会の報告書、諏訪湖創生ビジョン推進会議のご案内、諏訪湖通信、ロータリーの友、月信、バギオだより、財団室 NEWS

◇誕生月祝い◇

林洋三さん 84 歳、北原厚子さん 74 歳になりました。良い一年になりますように。



世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度 諏訪湖ロータリー活動方針

「ロータリー 新たな一歩」

ウィークリーの原稿送付先は pr@suwakorc.net です

【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	33人	15人	42,000円
出席対象	32人	前回累計	351,000円
出席者数	22人	累計	393,000円
出席率	66%	目標額	60万円
前回修正出席率	%	達成率	65.5%

ニコニコメッセージ  投稿者の敬称 略

- 平山先生、本日は楽しみにしております。 萩田 均
- 平山先生、卓話楽しみにしています。
よろしく願います。 宮坂 英貴
- 今月は私の新しい年が始まります。うれしいです。
又一年頑張ります。そして私には辰野の実家に97才になるこの世でたった一人の母がいます。私を生んで育ててくれてありがとうと会いに行ってきます。 北原 厚子
- 平山先生卓話楽しみです。 高林 一紀
- 確定申告も無事終わりました。 小松 孝弘
- 平山先生、人生の楽しいお話を聞かせて下さい。 御子柴 文夫
- 久しぶりに出席します。元気です。
平山先生の卓話を聞きに来ました。 大澤 邦彦
- 平山先生、本日の卓話楽しみにしております。
IMは午前から出席させていただき、大変勉強になるとともに向上心が高揚する素晴らしい会でした。 五味 弾

◇例会内容◇

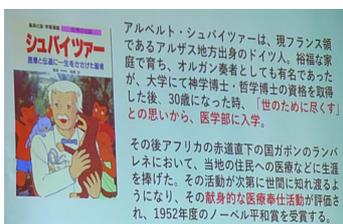
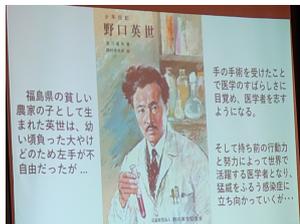
クラブ会報・雑誌広報委員会担当例会

平山隆勇会員卓話



今日は、「我が人生と奉仕の心」というタイトルでお話しさせていただきます。
昭和21年4月25日生まれ来月78歳になります。
昔はチャンバラ好きな子供で、色んなグループと戦争ごっこをして、よく木に縛られていました。
また、注射が嫌で畑を逃げ

回ったり、運動神経が悪く鉄棒から落ちて腕を骨折したりしていたため、もう少ししっかりするように、母は私に偉人の伝記を読ませました。一番記憶に残っている本は、野口英世とアルベルト・シュバイツァーです。



これが影響して、私は医学部を目指し、慈恵医科大学に入学しました。この大学の創設者は高木兼寛という人で、脚気(かっけ)が感染症じゃないとも言われていて、まだビタミンという言葉もない中、栄養と関係があると、栄養失調によるものだと気がついた功績があります。

この人の言葉で、「病気を診ずして病人を見よ」という素晴らしい言葉があります。医者は病気を診てしまっただけでその人を見ないが、本当はどこを見なければいけないか。私の病院にもこの言葉を飾っていて、いつも心しています。そして、学生時代に無医村で公衆衛生活動をやりました。当時はまだロータリークラブにも所属していませんが、伝記を読んだことも影響したかもしれません。まだ学生のため、血圧測定や尿検査などの他に、寄生虫の検査をやりました。農村では、人の排泄物を畑の肥料にしていたため寄生虫を持っている人が10%いたので、顕微鏡で確認していました。これは、人のために役に立ちたいという気持ちがあったからです。

一方でスリルやワクワク感に浸りたい思いもあり、自動車部に入りブルーバードに乗りました。その後、大学を卒業して附属病院に勤務しました。今では考えられない110名もの医局員がいました。

そして、昭和58年父を継いで平山医院を開院しました。医師会に入り、最終的に会長をやらせていただきました。これとは別に保険委員会というものにもなりました。多い時には月5、6回休診して、保険指導という各病院の保険請求が適切かチェックをしたりしました。とても大変だったので僕だけ、と思いましたが、ロータリーに入会していたため、職業奉仕の一つだと考えていました。

いつでも誰でも必要な医療サービスを受けられるのは日本だけですが、それを守ることが保険制度です。そのため、無駄なお金をかけない、変な請求をしないことが大切です。

私の職業人生で大きな存在の保険診療に関わる仕事は、ロータリーの理念のおかげで何とか続けてこられました。任務を終えた今、会員の皆さんの話をよく聞いて、共感することが残った最後の仕事だと思っています。

平山会員には 1月例会で健康卓話
今回の 3月例会では人生の卓話をして頂きました。
心から感謝申し上げます。

ガールスカウト長野県連盟第15団(下諏訪)
フライアップ式(入団式)訪問のお誘い

3月17日(日)午前10時開始

下諏訪町総合文化センター

弊会が助成しているGS第15団の上記会合が開催されます。1時間程度の会です。

宜しかったら訪問して下さい。

